

「同じ時代 同じ地球に生まれたんだから」

難民にもやさしい国に！

なんみん（難民）とは 1951年の難民条約の第1条では、難民を「人種、宗教、国籍、政治的意見やまたは特定の社会集団に属するなどの理由で、自国にいとる迫害を受けるかあるいは迫害を受ける恐れがあるために他国に逃れた」人々と定義しています。UNHCR(国連難民高等弁務官事務所) HPより

当日ボランティアスタッフ、ブース出店団体、賛同団体、賛同個人などを募集中



7月14日(日) 13時30分開場 13時45分開始

13:55～ 「難民認定制度—その社会的機能と日本の実状(仮)」 神奈川大学法科大学院教授(国際人権法) 阿部 浩己氏

15:30～ パネルディスカッション
「難民条約を活かすために私たちができること」
コーディネーター 大阪大学 特任助教 安藤 由香里氏
助言 神奈川大学法科大学院教授 阿部 浩己氏

パネリスト 特定非営利活動法人なんみんフォーラム(FR) 石川美絵子氏

全国難民弁護団連絡会議 弁護士 弘川 欣絵氏



難民ブース
出身国の情報や
難民との交流を



写真展
難民出身国の
写真など

当日の様子は、Ustreamにて中継
「難民ナウ!TV」で検索か下記のアドレスから
<http://www.ustream.tv/channel/nanmin-now>

世界の難民1000万人以上！

6月20日は2000年の国連総会で決議された「世界難民の日」です。世界各地の難民に思いをはせ、その人権を確立していこうとする日です。

世界には、一党独裁の国や軍部が事実上支配する国、内戦状態が続く国、多数の一般人の虐殺が続く国など、人々の生命、身体、自由への侵害が日常化している国々が今も存在します。国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)によれば、このような国々で迫害を受ける恐れから国外へ逃れ、海外に保護を求める人々(難民)は、世界で1,000万人を超えるといわれています。この間、難民保護に主要な役割を果たしてきた欧米諸国では、現在も年間10万人を超える人々を受入れています。

難民にもやさしい国に！

祖国での迫害を逃れ、日本に保護を求める難民の多くは、その状況が理解されず、また生活を維持するために働くことが経済目的と誤解され、難民と認定されることがないまま、日本から出ることも出来ず、この国で行き場を失っています。

難民が望んでいることは、私たちがそうであるように、祖国で家族とともに平和に暮らすことです。難民条約はそれが可能になるまでの間、各国が協力してその人々を保護するための取り決めです。この条約を活かして、あなたのできるところから人道支援の輪を広げ「難民にもやさしい国」を作っていきましょう。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



昨年の講演



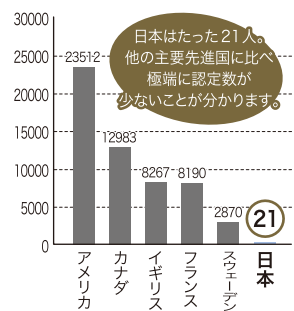
昨年の展示コーナー

保護すべき難民はわずか2人という法務大臣の認定

日本が1981年に難民条約加入後32年になろうとしています。一昨年の30周年には衆・参両議院で「難民の保護と難民問題の解決策への継続的な取り組みに関する決議」が全会一致で可決されました。この決議では、日本が「世界の難民問題の恒久的な解決と難民保護の質的向上に向けて、アジアそして世界で主導的な役割を担う」ことが謳われています。

難民条約に基づいて日本に保護を求める難民は過去5年間に3倍以上に急増しています。しかし昨年、法務大臣(入国管理局)が難民と認められた人は、審査した2,198人のうち18人、しかもこのうち法務大臣が自らの判断で難民と認定したのはわずか2人です。他の16人のうち13人は難民と認めない大臣の決定に異議申立をし、また3人はその取消しを求めて裁判で長い年月をかけて勝ち取ったものです。欧米諸国では類例のない極端に低い認定率なのです。一方、タイ国境に逃れたビルマ難民の人々を日本で受け入れる政府の第三国定住プログラムでは、ついに来日を希望する人がいないという事態も明らかになりました。

このような状況は上記の国会決議の趣旨と大きく異なるだけでなく、日本は難民条約上の保護を放棄しているとみなされることにもなります。保護を求める人々の人権を守るため速やかな改善が求められています。



主要国と日本の
難民認定者数の比較(2011年)
※UNHCRのHPデータを元に作成

世界難民の日・関西集会に関するお問い合わせはこちらまで…

主催：世界難民の日 '13 関西集会実行委員会
問い合わせ：RAFIQ【ラフィック】 fax：072-684-0231
住所：大阪府高槻市大手町 6-24 mail：rafiqtomodati@yahoo.co.jp

賛同金にご協力ください 団体 一口1000円 個人 一口500円
郵便振替：00980-4-281607 口座名：世界難民の日実行委員会

新しい情報はここで <http://rafiq.jp/wrd/>

◎難民の方のお話を直接聞ける出前講座を受付中。少人数でも大歓迎です。